

第3回白神森林講座 「きみまち阪と七座山秋田天然杉の歴史散策」

日 時

平成29年10月14日(土曜日)

天 候

晴

今年度最後となる第3回目の白神森林講座を秋田白神コミュニケーションセンターと共催で開催しました。東京都、秋田市から8名が参加しました。

今回の講座の開催地である能代市二ツ井町の「きみまち阪」と「七座山」で、きみまち阪は明治天皇が御来光の時皇后からの手紙を待っていたことで「きみまち阪」と名付けられました。また七座山は、七つの倉からなり高いところで287mです。藩政時代御直山として保護されてきて、奇岩と天然秋田杉の里山です。

当日、きみまち阪は普段歩かないコースを夫婦岩と枯れて抜根だけ残った一本松まで散策しました。一本松から臨む七座山と米代川の眺めはとても絶景でした。秋のさわやかな気分で歩くと汗がじわりと流れました。紅葉が色づきはじめ赤く色づいたモミジとムラサキシキブのコントラストを楽しみました。

きみまち阪で昼食後、七座山までのバスの中で、米代川に東洋一の広さをほこる土場があり天然スギを森林鉄道で運んだこと、米代川を利用し筏で材を運んだこと等、当時の林業による繁栄ぶりを説明しました。また、最近のスギはCLT(Cross laminated Timber 直交集成材)に加工し用途が広がったこと等も紹介しました。

午後からは、七座山の登山を開始しました。コースは駐車場から権現倉をとおり展望台までです。登り初めてクロビイタヤや樹齢300年の天然秋田杉の巨木が、いたるところに露出した巨岩の間や岩の真上に根を張っていて「すごい」との声がありました。権現様や昔行者の修行の場所であったといわれている法華の岩屋をとおりゆっくりと散策しました。展望台では、米代川と二ツ井町の町並、そして森吉山や藤里駒ヶ岳などの山々のパノラマ、対岸に見えるきみまち阪等を堪能しました。

予定の時間を過ぎる程、山歩きを楽しみ、無事終了することができました。

きみまち阪散策



クロモジの味は!



きみまち阪ってこんなところ歩くの!



一本松から望む七座山と米代川

七座山



権現様



法華の岩屋、蜂の巣状の岩



最後の難所がんばれ！



山々の説明



山頂で記念撮影